

令和5年度全国高等学校総合体育大会
第103回全国高等学校ラグビーフットボール大会秋田県予選
兼 秋田県高等学校ラグビーフットボール選手権大会

日程及び組み合わせ

期 日 令和5年10月15日(日)、22日(日)、29日(日)
会 場 ASPスタジアム
開 会 式 11:50

組 合 せ

決勝

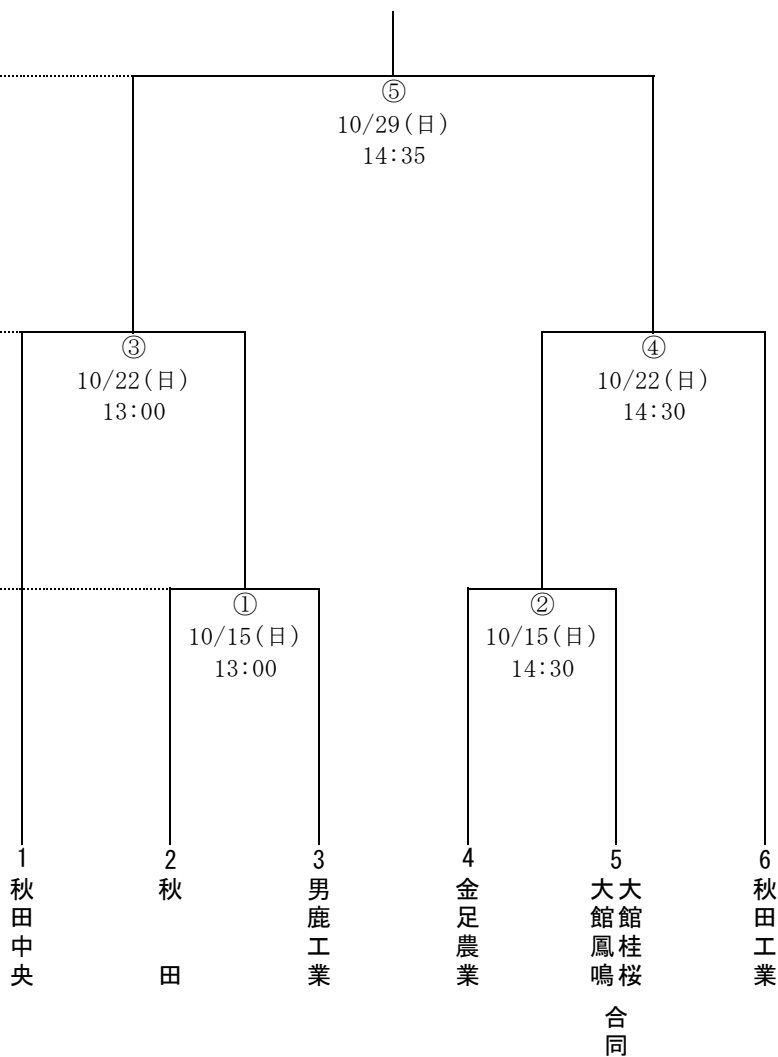
10/29(日) ⑤
ASPスタジアム

準決勝

10/22(日) ③④
ASPスタジアム

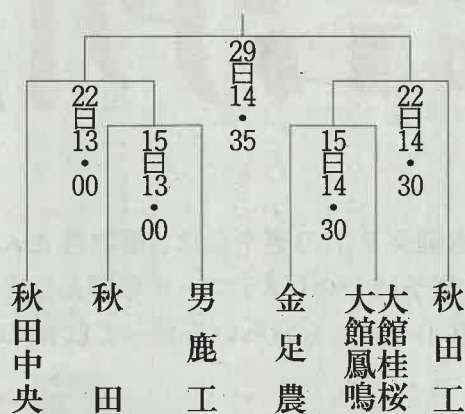
1回戦

10/15(日) ①②
ASPスタジアム



高校ラグビー県予選 中央、秋田工軸にV争い

来月15日開幕 6チーム熱戦



来月15日に開幕する第103回全国高校ラグビー大会。予選の組み合わせ抽選会が13日、秋田市のアキタパークホテルで行われ、対戦カードが決まった。合同チームを含む6チームが全国大会出場を懸けて熱戦を繰り広げる。

来月15日に開幕する第103回全国高校ラグビー大会。予選の組み合わせ抽選会が13日、秋田市のアキタパークホテルで行われ、対戦カードが決まった。合同チームを含む6チームが全国大会出場を懸けて熱戦を繰り広げる。

秋田中央は展開力のあるバックス陣を機能させ

秋田工は22日の準決勝から秋田中央、秋田工が登場する。決勝は29日午後2時35分キックオフ。会場はいずれも秋田市の秋田スポーツPL

US・ASPスタジアム。開会式は15日午前11時50分から、同スタジアムで行われる。

全県総体を制した秋田中央、その後の東北選手権1部で優勝した秋田工の実力が拮抗

たい。スクラムやモールでトライに持ち込む馬力もある。秋田工はFW戦で五分以上の戦いに持ち込めるか。ロースコアの展開で勝機を広げた

日本 18日 イングランド戦

姫野が練習に参加



イングランド戦に向けての練習で、円陣を組む姫野（左端）ら日本代表の選手たち＝トゥールーズ

たい。スクラムやモールでトライに持ち込む馬力もある。秋田工はFW戦で五分以上の戦いに持ち込めるか。ロースコアの展開で勝機を広げた

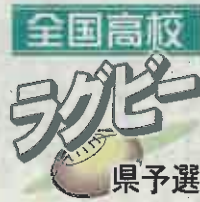
FWの力を前面に出す男鹿工、機動力を生かす金足農がどれだけ2強に迫れるか。
(間杉大旗)

2023
ラグビー
フランス大会
杯

【トゥールーズ(フランス)共同】ラグビーのワールドカップ(W杯)フランス大会で1次リーグD組の日本代表は

男鹿工、金足農 準決勝へ

第103回全国高校ラグビー大会県予選が15日、秋田市の秋田スポーツPLU.S.A.S.Pスタジアムで開幕し、1回戦2試合を行った。第4シードの男鹿工が秋田を58



〈第1日〉

15で下し、第3シードの金足農が大館鳳鳴・大館桂桜に107-0で大勝した。第2日の22日は同スタジアムで秋田中央―男鹿工、金足農―秋田工の準決勝を実施する。
(佐々木翔吾)

▽1回戦	男鹿工	58	(31-27)	10	5	秋
秋田	0000	10005	TGP前	530	31	58計
	421	27	TGP後	530	31	58計
男鹿工	4	21	27	530	31	58計
▽反則	男12	秋5	▽30分ハーフ			
▽キックオフ	男鹿工	▽レフエリ				
黒木						

男鹿工は前半一分、ゴール前のモールから麻木が押し込み先制トライ。その後もゴール前の密集を起点に得点を重ねた。秋田は後半25分、相手のペナルティーから好機をつくり、最後は伊藤が持ち込んでトライを決めたがここまでだった。

3年間で唯一のトライ

○…助っ人1人を含む15人で挑んだ秋田は男鹿工に敗れたが、後半にトライを奪った。県予選では一昨年から今年ま



【男鹿工―秋田】後半25分、相手守備を突破し、トライを決める秋田の伊藤（手前）

での3年間で唯一のトライという。小田嶋煌介主将(3年)は「過去2年は得点できなかつた。最後に数字を積み上げられて良かった」と充実感を感じた。

前半、セットプレーのミスからボールを奪われ失点した。ハーフタイムに佐藤栄幸監督が「逃げずに立ち向かえ」とハッパをかけると、選手も

気合を入れ直した。後半25分、相手の反則を機にゴール前でチャンスが訪れる。チームで最も体格の良いPR伊藤大智(2年)がタックルから突進し、インゴールにねじ込んだ。直前に小田嶋から「任せろ」と言われ奮起したという「プレーで引っ張ってくれた先輩のために、何が何でも点を奪いたかった」と振り返る。

大館鳳鳴・大館桂桜	0000	0000	0
TGP前	1080	66	730
TGP後	107	0	107計
金足農	107	(66-0)	0
大館鳳鳴	41	(0-0)	0

経験を糧に来年に向け練習を続けてほしい」と語った。ラインが遠かった。

4年分の思い込め宣誓

○…2019年以来的の開会式。選手宣誓を務めた秋田工主将の大沢空(くうあ)3年は「4年ぶりに開催される開会式に喜びを感じています」と通常開催となった県予選への思いを口にした。

コロナ禍以降、無観客開催もあった中で「以前と同じ形でできてうれしい。開会式ができなかった先輩たちの思いも込めた」と話した。

チームメイトが宣誓の練習に付き合ってくれたという。「緊張したけど、詰まることなく終えられて満点です」とはにかんだ。



力強く選手宣誓する秋田工の大沢主将

開催中のワールドカップ

全国高校ラグビー県予選あす決勝

第103回全国高校ラグビー大会県予選最終日はあす29日午後2時35分から、秋田市の秋田スポーツPLUS・ASPスタジアムで秋田中央―秋田工の決勝を行う。秋田中央は4年ぶり13度目、秋田工は4年連続71度目の全国大会(12月27日開幕・東大阪市花園ラグビー場)出場を目指す。

両校での決勝は3年連続。現チームとなって以降、全県総体では秋田中央、中央地区総体と東北高校選手権では秋田工が勝利している。2試合は接戦で、決勝でもロースコアの接戦が予想される。

秋田中央は機動力のある展開ラグビーが特徴。PRとHOには重量があり、セットプレーも安定感を増す。密集で押し負けず、スピードのあるCTB齊藤歩輝主将(3年)を軸に、グラウンドを広く使った攻撃で勝利を目指す。

秋田工は伝統の鋭いタックルに加え、鍛え上げられた組織的な守備で相手の攻撃を食い止める。突破力のあるナンバー8三浦颯太(2年)が攻撃の鍵を握り、FWで優位に立ち、着実に陣地を奪って得点したい。(佐々木翔吾)

中央 秋工 ロースコアの接戦か

オーブン攻撃持ち味

序盤から普段通りに

先制して優位に立つ



古谷和義監督 春はお互いにFWで陣地を取り合う形になり勝利できた。隙を見れば一気に攻めてくる相手。試合序盤から普段通りのプレーをし、流れを引き寄せてもらいたい。



齊藤歩輝主将 早い段階で先制し、優位に立ちたい。秋田工はFWが強みだが、自分たちも自信がある。FW戦で圧倒し、中央らしいスピードのある展開ラグビーで勝ちたい。



澤木賢一監督 手の内は互いによく分かっている。秋田工の強みであるFW、スクラムでは負けられない。基本を確実にこなし、接戦でも最後まで集中力を発揮し戦い抜いてほしい。



大沢空主将 春はミスから崩れて敗れたので、基本を鍛え直してきた。秋田工としてFWにプライドがある。速い攻撃に警戒し、自分たちで戦いたい。

FWで負けられない

秋田工らしくプレー

ナンバー8に突破力

